

## 佐野ゼミで何を学ぶか？

建築人間工学 ≡ 建築・都市・インテリア+ 人間 (工学・心理学)

**Human Centered + Universal = Design**  
人のために+みんなのために



早稲田大学 人間科学学術院 准教授

所属学生

**佐野 友紀**

一級建築士・博士(工学)

趣味：テニス・スキー

最近の興味：iPhone

Apple Watch

- 博士課程:1
- 修士課程:3
- 学部4年 :11
- 学部3年 :10

担当講義

建築人間工学

演習 I・II

- [\(財\)日本建築センター\(BCJ\):防災性能評価委員](#)
- [ISO TC92/SC4/WG7\(委員\)](#)

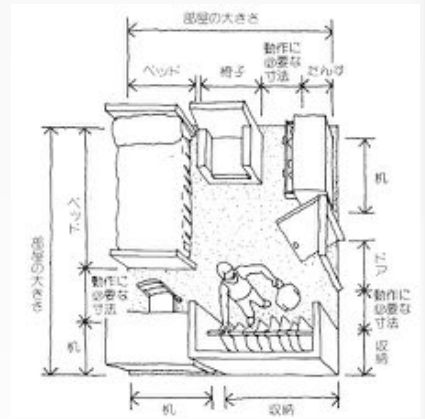
環境シミュレーション

3

Sanolab

## 人のための建築をつくることは？

- 建築をつくることは  
 ハコを作ることではない
- →人間と環境との関係
- 人の「容れもの」をつくる
- 建築は原則的に一品生産
- 敷地、条件に合わせて設計
- 試作・現物実験はできない
- 人、物、その関係を知る
- 建築・都市・インテリアに応用



エドワードアレン著,「建物はどう働いているか」,鹿島出版会,1982.8,p.174,図

## Sanolab. 2年間のながれ

専門的手法の習得 実験/調査/フィールドワーク



演習

演習

ゼミ論文

卒業研究

**演習**  
 全員に1-2週間の課題が課され、毎週演習時間での発表を行います

e.g. 群集行動の観察・分析  
 (グループ課題)行動観察を通して得られたデータを分析し、その傾向や問題点・課題点を見つけレポートする。

e.g. 設計と建築模型の作成  
 (個人課題)指定した条件下で、交通の設計とその建築模型の作成を行う。



人の心理と行動を知る  
行動観察+心理調査

演習+実習+発表<sup>4</sup>

## 専門ゼミの様子(データ計測)



学内でのフィールドワーク(階段調査) + 発表  
 「方法を知る」

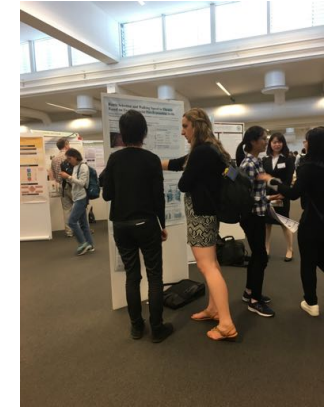
# 何のために研究するのか？

- 1 安全・安心のために(防災)  
[非常時:火災・防災/ 日常時:事故・防犯]
- 2 使いやすさのために(ユーザビリティ)  
[Human Centered Design]
- 3 分かりやすさのために(レジビリティ)
- 4 新しさ(技術・理論・評価)のために
- 5 すべての人のために(高齢者・障害者・子供)  
[Universal Design]
- 6 メカニズムを知るために  
[Simulation]



# Sanolab. 大学院のながれ

専門的・高度な研究手法の習得・海外発表・留学  
実験/調査/フィールドワーク



留学(Lund University)

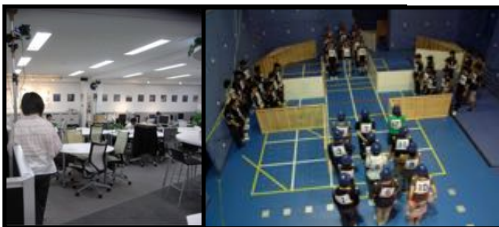
国際会議発表

## 建築人間工学 佐野友紀研究室 (建築計画学／防災安全)

建築・都市を対象にして  
人の行動と心理を知る専門的手法をまなぶ  
企業との共同研究を通して実務を知る

・行動を知る    ・心理を知る    ・仕組みを知る  
「行動観察」    「心理調査」    「実験思考」

フィールド調査    アンケート調査    シミュレーション



## 人間科学として まなぶべきこと

建築人間工学(建築計画学／防災安全)

- ① 実習、発表を通して、  
建築・都市での人の行動・心理を知る専門的手法をえる
- ② 現場を見る、体験する、計測する、分析する
- ③ 今まで知られていなかった知見を研究としてまとめる
- ④ 学際的な(二つの研究領域に関わる)専門性の獲得

